

長崎県 時津町

「生活都市とぎつ ～誰もが住みたくなる町へ～」



吉田 義徳 (よしだ よしのり)

—主な職歴—

2000年 時津町 建設部長
2005年 時津町 福祉部長
2007年 時津町 副町長
2011年 11月 第16代時津町長 (1期目)
2015年 11月 第17代時津町長 (2期目)

—主な役職—

長崎県市町村職員共済組合理事長
西彼杵道路長崎南北幹線道路建設促進期成会副会長
長崎県町村会副会長
全国道路利用者会議理事
長崎県都市計画協議会副会長

時津町は長崎市の北部に隣接し、波静かな大村湾の南に位置する面積約21km²、人口約3万人の町です。

古くから長崎街道の近道・時津街道として多くの人々が往来しており、現在でも国道206号と国道207号が交差し、長崎空港までを25分で結ぶ高速船航路が発着する港がある交通の要衝となっています。

その高い交通利便性から中小の工場や大型商業施設が多く立ち並び、大村湾の海の幸と豊かな土壌で育まれる巨峰などの農産物が特産品の活気あふれる町です。

～日本昔話の舞台となった～



<鯖くさらかし岩>

～時津町イメージキャラクター～



<とつきー>

～世界に知られる聖人ゆかりの地～



<日本26聖人上陸の地>